

中・長期投資の伝道師が明かす株の極意

株の防人



作戦指令 Vol.36

「生徒さんたちの、夢を叶えるのが我々の仕事です。」

城南進学研究社(J・4720)の下村勝己社長が力強く語った。

「創業以来、ぶれることなく、生徒第一主義を貫いております。また、事業の多角化はしていません。教育事業一筋です。」

教育事業だけでは立ち行かなくなり、不動産などの分野へ参入する経営者が多い中、教育事業一筋とは、強い思い入れがあるに違いない。

「予備校や塾などの教

夢を叶える仕事

城南進学研究社

城南予備校を展開

「第一志望が滑り止め」に

田川孝展の横顔。一九六八年生まれ、埼玉県出身。防衛大学卒業、航空自衛隊のパイロットで教官としても活躍。三等空佐を最後に退官後はビジネスの世界に転じ、日本企業情報社社長として企業情報ナビをネットで展開。画期的なIRシステムである「IRシート」を通じ企業をサポート。株式投資にも造詣が深く、長期的視点での有望株発掘には定評。

育事業は、学校法人化する形態を貫いております。と、税制面や補助金など様々な優遇策が得られます。しかし、その一方で事業スタイルには、一定の規制があり、たとえ生徒さんのためであっても、融通が利かない局面もあるのです。そこで我々は、株式会社経営

このような地道な作業の積み重ねが、巡り巡って結局は、生徒のやる気と学力アップにつながっているに違いない。

「第一志望の学校が滑り止めになることを目標とし、生徒さん、ご両親、そして我々が一体となって、生徒さんの能力を引き出します。」

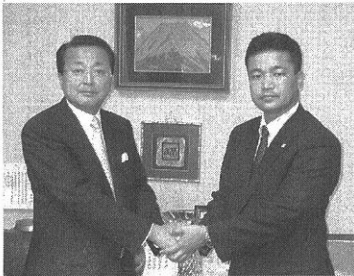
城南進学研究社は、川崎市を基盤として、首都圏に現役高校生向け

主体「城南予備校」を展開している。生徒の合格を第一に考えた独自の予備校運営を行っている。生徒一人ひとりの目標と学力に対応した効果の高い授業を行うため、教科ごとに学力別クラスを編成し、各担当講師が指導方針を共有化した組織的、体系的な授業運営を行っている。

また、講師と共に予習復習の方法や学習計画など、クラス担任として、幅広く生徒の学習生活をサポートする社員チューター、更に個別の教科指導を担当するフェロー(城南予備校出身の大学生)の三者がしっかりと連携して、個々の生徒のニーズに合致したきめの細かい指導を行っている。

ここまで徹底した支援体制があれば、「第一志望の学校が滑り止め」が、単なるお飾り的な努力目標ではないことに納得だ。

生徒第一主義を掲げる下村社長



4720 城南進学研究社 (J・週足)

